

1.技 術	1.3 生物処理による下廃水の処理
2.事 業 名	1.3.29 担体添加型 MBR の共同開発事業
3.キーワード	MBR、バイオフィアウリング、下水処理
4.目的	本事業は、MBR の膜ファウリングを低減するため、繊維状担体を固定床としてスケルトンのカプセル容器に入れ、これを MBR 槽に添加することで、原生動物・後生動物の集積により、多様かつ高次な生物叢の構成を図り、膜ファウリングを抑制した新規な MBR の構築を目指すことを目的とする。
5.内容、成果	会員企業と東京農工大は、人工下水を用いた小型試験機でこの効果を確認しているが、本事業では、実証規模のウォータープラザ北九州の MBR 設備で実下水を用いて、MBR のバイオフィアウリング抑制の効果を実証した。
6.参照	本事業は、本財団と会員企業及び東京農工大との共同研究で実施したものである。